

ベルギーで国際作曲コンクール

藪田さんの作品1位



たつの出身 「世界で演奏されたい」

ベルギーで約200年の歴史を誇る文化団体「S orodha(ソルダ)」が主催したピアノソロのための国際作曲コンクールで、たつの市出身の藪田翔一さん(29)＝写真(同市音楽協会提供)＝が1位に輝いた。オーストリア・ウィーンの作曲コンクールで昨春、最優秀となったのに続く快挙。

昨春のウィーンに続く快挙

藪田さんは同市御津町出身で、東京音楽大学院を修了。たつの市音楽協会に所属し、欧州など各国への留学を通して作曲を学んだ。昨春には若い音楽家を対象にウィーンで開かれた世界的な作曲コンクールのオーケストラ部門で最優秀に選ばれるなど、世界で活躍している。

181作品の応募があり、5作品に絞られた最終審査で藪田さんの曲が1位に選ばれた。

1位になった曲名は「MOVE(ムーヴ)」で、3章編成で約7分間。1楽章は力強く、2楽章はスピード感を持たせ、3楽章は旋律的にーと楽章ごとに全く異なる曲調にし、演奏者の姿も美しく見える曲全体の「動き」に注目して仕上げ

たという。

藪田さんはたつの市音楽協会を通じ、「聴衆が国によって一気に変わるの緊張したが、自分の曲がベルギーで演奏されてうれしかった。もっと世界で自分の曲が演奏されるように頑張りたい」と喜びの声を語った。